

天主に御恵みを感謝する祈

テ・デウム

天主にまします御身をわれらたたえ、主にまします御身を讚美し奉る。

永遠の御父よ、全地は御身を拝みまつる。

すべての御使いら、天つ御国の民、よろずの力ある者、

ケルビムも、セラフィムも、絶間なく声高らかに御身がほぎ歌をうたいまつる。

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の天主、

天も地も、御身の栄えと御靈威とに充ち満てりと。

ほまれにかがやく使徒のむれ、

ほめたとうべき預言者のあつまり、

潔き殉教者の一軍、みなもろともに御身をたたえ、

全地にあまねき聖会は、

御身、限りなき御いつの聖父を、

いとたかき御身がまことの御独り子と、

また慰め主なる聖霊と、ともに讚美し奉る。

御身、栄えの大君なるキリストよ、

御身こそは、聖父のとこしえの聖子、

世を救うために人とならんとて、おとめの胎をもちとわせ給わず、

死のとげにうち勝ち、信ずる者のために天国を開き給えり。

御身こそは、御父の御栄えのうちに、天主の右に坐し、

裁き主として来りますと信ぜられ給う。

願わくは、尊き御血もてあがない給いししもべらをたすけ給え。

かれらをして諸聖人と共に、永遠の栄えのうちに数えらるるを得し

め給え。

主よ、御身の民を救い、御身の世継ぎを祝し、

かれらを治め、永遠にいたるまで、かれらを高め給え。

われら、日々、御身に謝し、

世世にいたるまで聖名をたたえ奉る。

主よ、今日われらを護りて、罪を犯さざらしめ給え。

われらをあわれみ給え。主よ、われらをあわれみ給え。

主よ、御身に依り頼みしわれらに、御あわれみをたれ給え。

主よ、われ御身に依り頼みたり、わが望みはとこしえに空しからまじ。

マゲニファイカト

わが靈魂は主を崇め奉り、

わが精神はわが救い主なる天主によりて喜びに堪えず。

そは御召使いのいやしきを顧み給いたればなり。見よ、今よりよる

ずよにいたるまで、人われを幸いなる者となえん。

けだし全能にまします御者、われに大事をなし給いたればなり。
聖なるかな、その御名。

その御あわれみは、世々これをおそる人々の上にある。

みずから御腕の権能を現し、おのが心の思いにおこれる人々を打ち散らし、

権力ある者をその座よりおろし、いやしき者をば高め、

飢えたる者を佳き物に飽かせ、富める者をば手を空しうして去らしめ給えり。

御あわれみを忘れず、そのしもベイスラエルを引き受け給い、われらの先祖に宣いし如く、そをアブラハムにも、その子孫にも世々に限りなく及ぼし給わん。

聖会曆年中の祈

待降節の祈

天よ、露を滴らせ、雲よ、義人を降らせよ。

地よ、開きて救世主を出せよ。(イザヤ四五ノ八) わが天主、わが救世主なるイエズス・キリスト。われらはこの待降節中、けいけんの念もて、旧約の太祖、預言者、および義人らが、主の御恵み豊かなる御来臨を祈り求めし、その熱望を思いめぐらし奉る。

主は限りなき御あわれみと愛とをもって、太祖に与え給いし御約束を果し給えり。すなわち、永遠の知なる主は天降りて、その完全なる御教えの光をもってわれらの精神の暗きを照らし、罪のきずなを解き、悪魔の力をくじき、われらと天の御父との間に、平安とわほくをもたらし給えり。されば天と地とは声をあわせて、主が人となりておこな

い給いし救いの御業をたたえ奉る。

主イエズスよ、われらは太祖、預言者たちと共に、御身が御約束のキリスト、世の救い主にして、道、真理、生命にてましますことを堅く信じ奉る。

願わくはわれらを恵みて、熱心なる祈りの精神と深き痛悔の心とを与え、主の御降誕を迎えまつるにふさわしき準備をなさしめ給え。

主イエズスよ、今こそ主は御みずからわれらに來り、靈的に生まれ給いて、その聖なる御託身の御恵みをわれらに与え給わんとす。そはわれらが主の如く天主の子として、天主と人との前に知恵と聖寵のいやまさんがためなり。

さればわれらは聖なる慎みをもって、すべて世間の楽しみを打ち棄て、心を淨めて、主の御ためにふさわしき住家を備え奉らん。

救霊のあけぼのなる聖マリア、イエズス・キリストの先駆者なる聖ヨハネ、主の御來臨を祝い奉るにふさわしき準備をなし得る御恵みを、

われらのために祈り求め給え。そは主がこの世を裁かんとて再び来り給う時、恐ることなく主を迎え奉らんがためなり。アーメン。主よ、御身に向いてわが魂を挙げ奉れり。

わが天主よ、われ御身に依り頼めり。われ永遠に恥じることなからん。

祈願全能の天主、願わくは主の御独り子をふさわしく迎え奉らんがために、われらに熱心なる祈りの精神と痛悔の念とを与え給え。われら救い主の御来臨によりて潔められたる心をもって主に仕え、御心に従いてこの世を送らんことを、われらの主キリストによりて切に願ひ奉る。アーメン。

御降誕節の祈

かくて御言葉はひととなりて、われらのうちに宿り給えり。

われらはその光栄を見奉りしが、そは父より来れる独り子の如き光栄なりき、すなわち恵みと真理とに満ち給いしなり。(ヨハネ一ノ十四)

天降り給いし救い主、われらはいまうやうやく馬ぶねに近ずき、心より主を礼拝し奉る。われらは堅き信仰もて、主がたといかよわき人の子の如く見え給うとも、まことに活ける天主の御子にてましますことを信じ奉る。実に御身はまことの天主にして、始めなく永遠に御父より生まれ給う御者なり。天地にあるすべてのものを造り給いし御父の御言葉は、すなわち御身なり。御身は御父の輝き、その全き映像なり。御身はまたその全能の御言葉をもつて、常によろずのものを保ち、かつ宰り給う。

ああわが主、わが天主よ、われ主を信じ奉る。ひれ伏して主を礼拝し奉る。天主なる幼児イエズス、主はわれらを愛してわれらの救霊のため、すでに馬ぶねのうちに御みずからを天の御父に献げ給えり。

われらは今主の御前にひざまずきて主を讚美し、感謝を尽し、犯せ

し罪を一心に悔み奉る。主よ、われらは今より後万事に超えて主を愛し、終生主にのみ仕えまつらんことを約束し奉る。われらはこの祈りを、慈しみ深き御母聖マリア、御養父聖ヨゼフ、諸天使、信心深き羊飼いらおよび東の国の博士らの、愛と信心とに合わせて主に献げ奉る。

主よ、いまだ主を知らざる人々にはまことの信仰を、罪人には改心の御恵みを、死せる信者の靈魂には永遠の安息を与え給え。またすべて主の聖寵に活くる者には、聖なる愛を増し、終りまで耐え忍ぶ力を授け給わんことを切に願ひ奉る。

祈願天地を統べ給う全能永遠なる天主、主は御みずからをこの世の小さき者に現わし給いしにより、われらは心よりへりくだり、御旨に適いて御子の御降誕にふさわしく祝いまつらんと望み奉る。願わくはわれらをして御子にならい、主がいと小さき者に約束し給いし御国にいたらしめ給わんことを。天主の御子なるわれらの主イエズス・キリストによりて願ひ奉る。アーメン。

幼きイエズスを訪い奉る祈

天主にまします幼きイエズス、わが創造主、我が救世主、われ今御前に出でて恭しく主を拝し奉る。いとうるわしく、いと愛すべき幼きイエズスよ、主の御降誕に当り、天の御父は喜びて主を見まもり給い、天使らは主を讚美し、御母聖マリア、御養父聖ヨゼフは羊飼いらとともに主を礼拝したり。われは罪人なれば主の御前に出ずるに足らざれども、願わくは世に降り給える主を、あふるるばかりの喜びと感謝とをもって拝み奉ることをわれにも許し給え。

聖にして恵みゆたかなる幼きイエズス、我は貧しくして何物をも持たざれども、わが心を主に献げ奉る。願わくはこれを潔めて主の御住居となし給え。また主は世を救わんために来り給いたれば、すべて主を知らざる人々をあわれみ、真理の光のうちにかれらを導き給え。かくて人々みな主を知り、主を愛し、主と共に平和のうち生きるに

いたらんことを、聖母マリア、聖ヨゼフ、ならびに諸天使、諸聖人の御取次によりて願ひ奉る。アーメン。

新年の祈

ああ天主、われ年の始めに当りて、過ぎし一年の間に受け奉りたるあまたの御恵みを謝し、また、この新しき年のために主の御祝福を願ひ奉る。願わくは御旨の天に行わるる如く地にも行われんことを。主の御名は地上に尊まれ、すべての人は救霊の道に導かれんことを。

われはこの新しき年の初穂として、わが肉身と靈魂、わが境遇と事業とを主に献げ奉る。願わくはこれを受け入れ給いて、主に仕え奉る熱心をわが心に新たならしめ給え。またわが親族、恩人、友人のためにも主の御保護を願ひ奉る。われをして主の聖寵のうちに、安らかにこの一年とわが一生とを過し、主の御旨によりて現世の旅路を終らん後、相共に天国の永福を得しめ給え。われらの主キリストによりて願

い奉る。アーメン。

御公現の祈

全能永遠の天主、御父、主は人類を救わんとて、限りなき御慈しみによりいと愛すべき御独り子をこの世に遣わし給い、おのが選民には天使をもつてその御降誕の福音を告げ給いしが、さらにくすしき星をもつて東方より三人の博士を幼児の御前に導き給いたり。

真理の源にまします天主、主の博士たちを召し給いしは、かれらによりて御子を万民に与え給わんためなることをわれらは知れり。幼きイエズス、今こそ御身はわれらのものなれば深くへり下りて御前にひれ伏し奉る。

いざ来れ、われらもろとも拝みまつらん。

主はまことにわれらの天主にましませばなり。主イエズス、御身が

世に來り給ひし時、東方の博士たちは幼兒が王たるをあらわす黄金、大司祭のしるしなる乳香、万民のために死にわたさるべきを示す没薬の三種の禮物を獻げて伏し拝みたり。

主よ、こいねがわくは禮物によりて信仰と愛とをあらわしたる三人の博士にならわしめ、わが心の愛を黄金となし、わがつたなき祈りを乳香となし、日々の苦難とぎせいとを没薬としてこれを受け入れ給え。

四旬節の祈

主よ、願わくはわれらの心に聖寵を充たし、われらにおのが罪を嘆き、祈りと善業とをもってこれを償うを得しめ給え。そは来世において永遠に罰せらるるよりも、この世においてこれを償うをまされりとなすればなり。われらの主キリストによりて願ひ奉る。アーメン。

イエズスの御受難を崇むる祈

主イエズス・キリスト、主は世をあがなわんためにこの世に生れ、ユデア人に棄てられ、裏切者なるユダのために口づけをもって敵に売られ、なわめを受けて罪なき子羊の如くとしよに引かれ、アンナ、カイファ、ピラト、ヘロデの前に侮りあざけられ、偽証人の陥るところとなり、むち打たれ、辱しめられ、つばきせられ、ほほを打たれ、いばらの冠をかむらせられ、よしにてたたかれ、衣をはがれ、十字架にくぎ付けにせられ、酢と苦きものをなめさせられ、やりにて貫かるるをも甘んじ受け給えり。主、願わくは、われらの身に余りてかたじけなきこの尊き御苦難と、聖なる十字架と、御死去とによりて、われらに地獄の苦しみを免れしめ給え。また主と共にはりつけにせられて、悔い改めたる、盜賊を導き給いし処へ、われらをも導き給え。聖父と聖霊と共にとこしえに生き、かつしろしめし給う主なるかな。

アーメン。

悲しめる聖母に対する祈（スタバト・マートル）

悲しみに沈める御母は涙にむせびて、御子の懸り給える十字架のもとにたたずみ給えり。

嘆き憂い悲しめるその御魂は、鋭き刃もて貫かれ給えり。

天主の御独り子の尊き御母は、いかばかり憂い悲しみ給いしぞ。

われ十字架の側に御身と立ちて、相共に嘆かんことを望む。

童貞のうちにていとも勝れたる童貞、願わくは、われを排け給わずして、共に嘆くを得しめ給え。

われにキリストの死を負わしめ、その御苦難を共にせしめ、その御傷を深くしのばしめ給え。

御子の御傷をもってわれに傷つけ、その十字架と御血とをもって、

われを酔わしめ給え。

聖なる童貞女よ、われに地獄の火に焼かれざらんため、審判の日にわれを守り給え。

ああ、キリストよ、われこの世を去らんととき、御母によりて勝利の報いを得しめ給え。

肉身は死して朽つるとも、靈魂には、天国の永福をこうむらしめ給え。アーメン。

御復活節の祈

栄えある主イエズスよ、主はわれらを救わんために十字架につかれて死し、御約束の如く三日目によみがえり、それを証さんため弟子たちには御みずからを示し給えり。主は御死去をもつて罪に勝ち、御復活をもつて死と地獄とに勝ち、御みずからの天主にましますことを証

し給えば、われらは主の御復活を崇め主の大いなる御栄えを喜び奉る。
これこそ主の造り給いし日なれ。アレルヤ。

この日にあたりわれら喜びかつ躍らん。アレルヤ。

主イエズス、主は御復活の後弟子たちに現われ、力を落し、恐れいたるかれらを慰め、励まし、またかれらに授け給いし御教えを完うし給えり。

死と地獄とに勝ち給いたるイエズス、われらの信仰弱きをあわれみてこれを強め、信仰のために戦うべき時に当りて、われらに助けをくだし給え。主よ、御身の公教会をしますます栄えしめ、常に地獄の門に勝たしめ給わんことを、伏して願ひ奉る。アーメン。

御昇天の祈

主イエズス・キリスト、主は御復活後、なおこの世に止まり給い、

しばしば弟子たちにあらわれてその御教えのまことなるを証し、かれらの信仰を固め居給いしが、四十日目に聖母マリアと御弟子らの前にて、オリベト山より栄えのうちに天に昇り、御父の家にわれらの住家を備え給えり。

われらは主の御栄えを崇め、感謝し、主の残し給いし御教えを守らんと決心し奉る。願わくは今日主の御昇天を祝いまつるわれらにも、ついには幸いなる昇天の御恵みにあずかるを得しめ給え。アーメン。

聖靈降臨節の祈

天主なる聖靈、主は聖父と聖子より出ずる、二位の間の永遠の愛のきずなにてまします御者なり。主は常に万物の上に愛の御眼をそそぎ、すべての御業を行い給う。

われらは聖靈の天主にましますを信じ、礼拝をささげ、今日までわ

れらに賜わりし霊肉の賜物をこころより感謝し奉る。

主イエズスはこの世を去り給う時、御弟子らに聖霊を遣わさんと約し給いしにより、かれらは聖母マリヤと共に、心を合わせて祈りいたりしが、聖霊は火の如き舌の形にて現われ、かれらの心に降りてそを充たし給いたれば、かれらは生まれ変りし者の如くなり、諸国の言葉を語り、布教に専心せり。主よ、聖霊を遣わし給え。しかしてよろずのものは造られん。

地の面は新たにならん。主なる聖霊、われらの上にも降りてわれらの心を充たし、新たに成して、天主に対し、人に対し、すべてにおいて正しき道を歩ましめ給え。アーメン。

聖霊の御降臨を望む祈

聖霊来り給え。天より御光の輝きをはなち給え。

貧しき者の父、

恵みの与え主、心の光にます御者来り給え。

いと優れたる慰め主、靈魂の甘美なる友、心のなごやかなる楽しみ
つかれたる時の憩い、暑き時の涼しさ、憂うる時の慰め。

いたつて幸いなる光よ、主を信ずる者の心に来り充ち給え。

主の御助けあるにあらざれば人には罪ならざる所なからん。

こいねがわくは汚れたるを清め、乾けるをうるおし、傷つけられた
るをいやし給え。

固きを柔らげ、冷えたるを暖め、曲れるを直くし給え。

主を頼む信者に神聖なる七つの賜物を施し給え。善徳の勲を積み、

救霊の彼岸にいたり、永遠に喜ぶを得しめ給え。アーメン。

三位一体の大祝日の祈

すべての被造物の源にまします天主、主は造られずして永遠の始め

よりましまし、御本性にては一体、ペルソナにては三位にましまし給う。主はすべての見ゆるものと見えざるものを無より造り出し、これを宰り給うなり。

天使らは主の御前に、聖なるかな、聖なるかな、聖なるかなと主をほめたたえ奉れば、われらも共に声を合わせて主を讚美し奉る。主よ、われらを見棄て給わず、わが足らざるを補いて、天使らと共に主を礼拝するを得しめ給え。

われらは天主の子と呼ばれるにふさわしからざれども、最愛の御独り子にましますわれらの主イエズス・キリストの福音の光に照らされ、洗礼の恵みをこうむり天主の子となるの幸いを得たり。ああこの信仰の御恵みは、いかにしてか感謝すべき。

願わくは、われらが主の子として変らざる信仰を保ち、御戒めを守り、天主に従い奉るを得んことを、ひたすらこいねがい奉る。アーメン。

聖体に対する祈

聖体に対するトマの祈（アドロテ）

パンの形色のうちさまことさまこと隠れ給う天主、今うやうやし
く御前に礼拝し奉る。われは主を認むる力足らざるにより、わが心を
全く主に従わせ奉る。

ここに今、見、触れ、味わうところのみにては、これが主なること
を認め難けれども、ただ耳に聞けるところによりて確信するなり。わ
れは天主の御子ののたまひしことを、ことごとく信じ奉る。この真理
の言葉にまさるまことは、世にあることなし。

十字架上にては天主の性のみ隠れしかど、ここにては人たるの性も
共に隠るるなり。されどわれ二つの性の共にまします信じ、かつ
これを公言し、カルワリオにて悔改めし盜賊の願ひしことをわれもま
た願ひ奉る。

われはトマの如く御傷を見ざれども、主のわが天主なることを公言してはばからず。願わくは、われをして主をますますあつく信じ、主に依り頼み、主を愛することを得しめ給え。

わが主の御死去の記念として人に命を与うる活けるパンよ、わが心を御身によりて生きながらえしめ、何時もその甘美なる味を覚ゆるを得しめ給え。

御血の一滴くをもつてしても、世のすべての罪を償うを得給う主なるイエズス、願わくは汚れたるわれを、御血をもつて清め給え。

聖体の姿のうちに見奉るイエズス、願わくはわが渴することく望むところを与え給え。即ち天国においてあらわに主の御顔を見奉り、御栄えを仰ぎて幸いなるを得しめ給え。アーメン。

オ・サルタリス

ああ救霊のいけにえ、

天つ御国の門を開き給う御者よ、

われらの敵は戦いをいどむが故に、

われらに力と助けを与え給え。

三位一体の天主に、

世々に栄えあらんことを。

また願わくは終りなき命を、

天つふるさにおいて与え給わんことを。アーメン

アヴェエ・ヴェールム

めでたし、童貞マリアより生まれ給いしまことの御体よ、

げに人のために苦しみを受け、十字架の上にていけにえとなり給い

し御者よ、

御脇腹はさし貫かれ、水と血とを流し給えり。

願わくは臨終の戦いに当りて、あらかじめわれらに天国の幸いを味わしめ給え。

ああ甘美なるイエズス、慈悲深きイエズス、マリアの御子なるイエズスよ。アーメン。

パンジエ・リングワ

いざ歌えわが舌よ、栄えある御体の奥義と、尊き御母の御子、万民の王の、世のあがないのために流し給える尊き御血の奥義をば。

主は汚れなき童貞より生まれ出でてわれらに与えられ、御教えの種をまきつつこの世をわたり、くすしき御恵みを与えてこれを終り給いぬ。

すなわち最後のばんさんの夜に当りて、主は兄弟らと共に食卓をかこみ、旧約の則にしたがいて過越を食し、このとき、御手ずから御身

を十二使徒に分ち給えり。

ひととなり給える御言葉はまことのパンを御肉となし、ブドウ酒はじつに御血と変れり。五感はこれを測り得ざれども、まことなる心は信仰のみによりて固く信ずるなり。

かくも尊き秘蹟をば、われら伏して拝み奉らん。いにしえの式は過ぎ去りて新しき祭りはなれり。願わくは信仰の、わが五感の足らざるところを補えよかし。

御父と御子に、誉れと喜び、礼拝と御栄え、力と祝福あれ、二位より出で給う聖霊もまた共にたたえられよかし。アーメン。

聖体降福式の時の讚美

天主は讚美せられさせ給え。 繰り返す

天主の御名は、讚美せられさせ給え。 同

まことの天主、まことの人なるイエズス・キリストは、讚美せられさせ給え。 同

イエズスの御名は、讚美せられさせ給え。 同

イエズスの至聖なる聖心は、讚美せられさせ給え。 同

イエズスのいと尊き御血は、讚美せられさせ給え。 同

いと尊き聖体の秘跡にましまし給うイエズスは、讚美せられさせ給え。 同

慰め主なる聖霊は讚美せられさせ給え。 同

天主の御母聖マリアは讚美せられさせ給え。 同

聖マリアの原罪の汚れなき御宿りは、讚美せられさせ給え。 同

聖マリアの栄ある被昇天は、讚美せられさせ給え。 同

童貞にして母なる聖マリアの御名は、讚美せられさせ給え。 同

聖マリアの淨配なる聖ヨゼフは、讚美せられさせ給え。

すべての天使と聖人において、天主は、讚美せられさせ給え。

同 同

聖体を訪い奉る時の祈（聖アルフォンソ）

わが主イエズスよ、主は人々を愛し給うにより、昼夜聖体の秘蹟に
ましまし、あわれみと慈しみとに満ちあふれて人々を招き、すべて主
を訪い奉る者を恵み給う。 われこの聖体の秘蹟に主のまことにまし
ますことを信じ、ひれ伏して主を礼拝し、またすべてわれに施し給い
し御恩、特にこの秘蹟をもって御身をわれに与え、聖母マリアをわが
代禱者となし、かつ今、われを主の御前に招き給えるを感謝し奉る。

われいま御恵みに感じ、慈しみ深き御心をうやうやしく礼拝し、一
には主がこの聖体の秘蹟を定め給いし御恵みを謝し、二には聖体の秘
蹟においてすべての敵より受け給いし辱めを償い、三には聖体の秘蹟

のうち主を敬い認めざる人々に代りて主を拝み奉らんとす。 わが
主イエズスよ、わが一心に主を愛し、今までしばしば限りなき主の慈
しみに背きしを悔み、聖寵の助けによりて、この後主に背くまじと決
心し奉る。

われはわが身を全く主に献げ、心をも愛情をも希望をも持ち物をも
ことごとく主に委せ奉る。 願わくは、今よりわれとわがすべてのも
のとなつき御旨のままに計らい給え。ただ主を愛し、死するまで耐え
忍びて、御旨を成就せんことを願ひ奉る。また煉獄の靈魂を救い、と
くに聖体と聖母マリアとを厚く尊みたる者を救い給え。あわれなる罪
人にも御慈悲の御眼を注ぎ給え。ついにわが愛情を、主の聖心の愛情
に合わせて、これを永遠の御父に献げ、聖父のこれを受け容れ給わん
ことを、主の御名によりて願ひ奉る。アーメン。

イエズスの御心に対する祈

人類の忘恩に対する償いの祈

(聖心の大祝日にこの祈を唱える)

いと甘美なるイエズスよ、主が人々に示し給いし御慈しみはかえつてかれらの忘却と冷淡とけいべつとによりて報いらるるなり。さればわれらは、主の祭壇の御前にひれ伏し、いとも愛すべき主の聖心が、あらゆる方面より受け給う、かくも憎むべき忘恩ぼうとくを償わんがために特に礼拝し奉る。されどわれらもまた、かつて主に背き奉りたるものなるを思い出し、深く悲しみて御あわれみを願ひ奉る。われらはおのが罪を償うのみならず、さらに進んで、救霊の道を遠ざかり、主の御招きに応ぜずして不信仰を改めざる者、洗礼の約束を破りて、主の御戒めの快きくびきを振り棄てたる人々の罪をも償わんと望み奉る。すなわちわれらは、世の腐敗せる風俗、むくなる青少年の靈魂を

墮落のふちに導く誘惑、聖日の無視、主ならびに主の諸聖人に向けらるる不敬の言葉、主の代理者たる教皇を始め、すべての司祭職に対してなさるる侮辱、至聖なる愛の秘蹟に対する無関心と恐るべきとくせい、主の定め給いし、公教会の権利と權威とにさからう、社会の公然の不義の如き、悲しむべき種々の罪を、あまねく償い奉らんと欲す。ああかくの如き罪をば、われらの血潮もてことごとく洗い浄めんすべもがな。われら今ここに、主のいと高き御靈威に対する冒辱の償いとして、主がかつて十字架の上にて御父に献げ給い、なお日ごと祭壇の上にて繰り返し給う償いに、童貞なる聖母、諸聖人、およびすべての信心深き信者の償いを合わせて献げ奉り、堅固なる信仰、汚れなき生活、福音の戒め、ことに愛徳の完全なる実行をもつて、主の聖寵の助けのもとに、われらおよび全人類の罪と、主の大いなる御慈悲みに対する冷淡とを、わが力の及ばん限り償い、全力を尽して、主に対する罪人の冒辱を防ぎ、かつ能う限り多くの人々を、主の御許に呼び集め

んと心より約束し奉る。いと慈悲深きイエズスよ、願わくは、至聖童貞なる協働者マリアの御取次によりて、われらが進みて献げ奉る償いの約束を受け給いて、われらをして死にいたるまで忠実に主に仕え、天のふるさとにいたる日まで、この決心を固く保たしめ給え。聖父と聖霊と共に世々に生きかつしるしめし給う主なるかな。アーメン。

イエズスの聖心に家庭を献ぐる祈

至聖なるイエズスの聖心よ、主はかつて聖女マルガリタ・マリアにキリスト信者の家庭に王たらんとの御望みを明かし給えり。われらは主の御旨を尊みて、今日ここに集まり、主がわれらの家庭の王にましますことを宣言し奉る。われらは今より、主の御生活にならい奉りて、この世の平和に必要な諸徳の花を、われらの家庭に咲き香わせ、また主の忌みきらい給う世間の精神をば、はるかにわれらの間より遠ざけんと欲す。願わくは、われらの知恵を治めて、信仰を素直ならし

め、われらの心をすべて、主ひとりを愛せしめ給え。われらはしばしば聖体を拝領して、主の愛に燃え、その炎をいつまでも失わざらんと欲す。

至聖なるイエズスの聖心よ、われらのまどいに長となり、われらの精神のおよび物質的事業を祝し給え。禍いを遠ざけ、喜びを神聖にし、苦しみを和らげ給え。われらのうちに、主の御旨を痛め奉る不幸に陥る者あらば、主が悔改むる罪人に対して慈しみとあわれみに充ちあふれ給うことを、思い出さしめ給え。

ついにわれらの家庭が、死別の不幸にあい、悲しみの雲に閉ざされん時は、去る者も留まる者も、すべて主の永遠の御定めに服従し奉らん。やがては全家挙りて天国に相集まり、主の御栄えと御恵みとを、永遠に讚美する日の来るべきことを思わば、みずから慰むるに余りあるべし。願わくは聖母マリアの汚れなき御心と、栄えある太祖聖ヨゼフとは、われらの家庭奉獻を主の御前に取次ぎ、われらをして、今日

のこの奉獻の記憶を、終生忘れざらしめ給え。願わくは、われらの王にして、父なるイエズスの聖心の、世々に活き、かつしろしめし給わんことを。アーメン。

聖心の侮辱を償う決心の祈

至聖なるイエズスの聖心よ、主が多くの人々より辱しめられ給うを償わんために、われらは愛と忠実と、さらに深きけんそんをもつて御前にひれ伏し、卑しきわが身を新たに聖心に献げ、今、次の約束をなし奉る。

われらの心を聖ならしめ給う聖心よ、世の人々が、主の聖寵の妙理を辱しむるとき、われらは一層聖心の摂理を深く信じ奉る。

人類の唯一の希望なる聖心よ、不信の暴風雨が、われらの希望を奪わんとするとき、われらは一層主に希望し奉る。

限りなく愛すべき聖心よ、世の人々が、主の御慈しみを拒むとき、われらは一層主を愛し奉る。

天主の聖心よ、世の人々が、主の御神性を否むとき、われらは一層主を礼拝し奉る。

至聖なる聖心よ、主の聖なるおきてが忘れられ、背かるとき、われらは一層これを守らんと決心し奉る。

豊かなる恵みを与え給う聖心よ、主の聖なる秘蹟が軽んぜられ忘れらるるとき、われらは一層愛と敬いとをもって、これを受けんと励み奉る。

すべての善徳の模範なる聖心よ、主の崇むべき御徳が見棄てらるるとき、われらは一層主の善徳にならわんと決心し奉る。

靈魂の救いをあつく望み給う聖心よ、悪魔が人々の靈魂を亡ぼさんとするとき、われらは一層その救霊のために、励まんと決心し奉る。

辱しめに飽かされたる聖心よ、世の人々が高慢と快樂とのために、おのれの務めを忠実に尽すをいとうとき、われらは一層おのれに打ち勝ち、ぎせいの心を養わんと決心し奉る。

甘美なる聖心よ、世の人々が、主の聖会を軽んずるとき、われらは一層聖会の忠実なる子たらんと励み奉る。

やりにて貫かれたる聖心よ、世の人々が、主の代理者たる教皇を迫害するとき、われらは一層かれを信頼し、かれのために祈らんと決心し奉る。

祈願 至聖なるイエズスの聖心よ、われらをして、この世においては聖心の使徒として励ましめ、天においては主の御栄えとならしめんため、われらに聖寵を降し、われらの弱さを強め給え。アーメン。

すべての人の心の王たるキリストに向つ祈

(告白、聖体拝領を果し、聖堂に参拝して教皇の御旨に従つて主禱文、天使祝詞、

栄唱と共に、次の祈りを唱えれば、一日一回全免償が受けられる)

主イエズス・キリストよ、われは主を宇宙の王と認め奉る。一切の造られしものはみな主のためなれば、願わくはわが上に主のすべての権能を行使し給え。われここに洗礼の約束を新たにし、悪魔とその業とその栄華とを棄て、よき信者として活くることを誓い、特に天主と、主の公教会との権利が勝利を得んために、わが力の及ぶ限り尽さんことを約束し奉る。イエズスの聖心よ、われはすべての人の心が主の聖なる主権を認め奉り、主の平和の支配が全世界に及ぶを得んがために、わが貧しき業をことごとく献げ奉る。アーメン。

イエズスの聖心に人類を献げ奉る祈

(王たるキリストの大祝日に唱える祈)

人類のあがない主にましますいと甘美なるイエズスよ、うやうやしく主の祭壇のもとにひれ伏し奉るわれらを顧み給え。われらは主

のものなり。また主のものたらんと欲す。されどもなお固く主と一致するを得んため、いまおのおの進んで、至聖なる聖心に身を献げ奉る。人々のうちにはいまだ主を知らざるもの多く、また主の御戒めを軽んじて主を棄て奉りしもの多し。いと慈悲深きイエズスよ、これらの者を皆あわれみ給いて、ことごとく主の聖心に引き寄せ給え。主よ、こいねがわくは、かつて主を遠ざかりしことなき信者に王たるのみならず、主を離れ奉りたる者にも王たり給え。かれらをして困苦と飢餓とに滅ぶるを免れしめんために、早く父の家に帰らしめ給え。異説に迷わされしもの、あるいは不和のために主を離れしものにも王たり給え。かれらをして、真理の港と信仰の一致とに帰らしめ、やがて一人の牧者、一つの群となるを得しめ給え。主よ、主の公会には無事と安全なる自由とを賜い、万民には秩序ある平安を賜いて、地の両極の間に、一つの声のなり渡るを得しめ給え。すなわちわれらに救かりを与え給う天主なる聖心の讚美せられ、世々に栄えと尊崇とあらせ給え

かし。アーメン。

聖母マリアに対する祈

聖母の御保護を求むる祈（聖ベルナルド）

慈悲深き童貞マリア、御保護によりすがりて御助けを求め、あえて御取次を願える者、一人として棄てられこと、いにしえより今にいたるまで、世に聞こえざるを思い給え。ああ童貞中の童貞なる御母、われこれによりて頼もしく思いて走せ来り、罪人の身をもつて、御前になげき奉る。ああ御言葉の御母、わが祈りを軽んじ給わず、御あわれみをたれて、これを聴き給え、これを聴き容れ給え。アーメン。

聖母に一切を託する祈（聖アロイジオ）

我が元后、童貞聖マリア、われは、御身の尊き御保護と、特別なる御守護とのもとに我が身を置き、今日、毎日、また臨終の時、わが靈魂と肉身とを、あわれみ深き御手のうちに託せ奉る。われはわが一切の希望と喜び、困難と悲しみ、一生と最後とを御身に献げ奉る。御身の御取次と御勲とによりて、われらのすべての仕業が、御身と御子との御旨に添うよう導き給わんことを願ひ奉る。アーメン。

聖母の汚れなき御心に日本を捧ぐる祈

(毎年聖母の汚れなき御心の公式の祝日に之を唱う)

いと潔きあわれみの御母、平和の元后なる聖マリアよ、われらは聖なる教会の導きに従い、今日、日本および日本国民を御身の汚れなき御心に奉献し、そのすべてを御身の保護に委ね奉らんと欲す。

願わくは聖母、慈しみの御まなざしもてわれらの心のみそなわし給え。

ああ、人々真理にうとく、その心くらみ、罪の汚れに染み、諸国はまた互いに分かれて相争い、天主の靈威を傷つけ、御身の御心を悲しませ参らするなり。

されどわれら日本国民は、ひたすらに光をしたい、平和をこいねがうものなれば、願わくは聖母、御あわれみの御心をひらきて、われらの願いを聞き給え。われら今、この世のすべての苦しみ、悩みを雄々しく堪え忍び、それを世の罪の償いとして、天主に捧げ、その御怒りをなだめ奉り、わけても御身の汚れなき御心にならいて、主の御旨を重んじ、身を清く持して、聖なる一生を送らんと決心す。

願わくは聖母、力ある御手をのべて、われらの弱きを助け給え。

かくて、われらは同胞、相互にたすけはげまし、諸国は正義と愛のきずなもて結ばれ、もって世界は、とこしなえに平和を楽しむにいたらんことを望む。

願わくは、御身、慈母の愛もてわれらを護り給え。

天主の聖母、われらのために祈り給え。

キリストの御約束にわれらをかなわしめ給え。

祈願 全能永遠なる天主、主は童貞聖マリアの御心のうちに聖靈のいみじき御宿をしつらえ給いたるにより、願わくは、御あわれみをたれて、かの汚れなげ聖母の御心に日本を捧げ奉りたるわれらをして、主の聖心にそいて生くるを得しめ給え。われらの主キリストによりて願ひ奉る。 アーメン。

聖マリアに身を献ぐる祈

天主の御母にしてわれらの母なる童貞聖マリアよ、御身は造られしものうちにてたぐいなく、かつ善徳の鑑みにましませばわれ御膝下にひれ伏して、御身が天主より恵まれ給いしを讚美し、謹みてわが身を献げ奉る。 なお諸天使・諸聖人の、常に尽せる敬いと愛とを献げ

んと欲すれども能わざれば、せめて力のあらん限り讚美し、かつ仕えまつらんと欲し、守護の天使、諸聖人の前にて、一心に尊み敬い、わが慈しみ深き母、わが元后、わが保護者と仰ぎ頼み、わが肉身と五感、わが靈魂と知恵、ならびにわが愛情、わが生命をも託せ奉る。われ終生、聖母の子たるを樂しみ、聖母のしもべたるを高き位よりも重んじ、御名をほめ、御恵みを人に顯わし、ひとえに仕え奉らん。願わくはこの志しをあわれみて、これを果たすを得しめ給え。聖母は絶えずわれらを思いて、恵みを与えんと計り給えば、われ、いかで一日もこれを忘るるを得んや。ああ聖母、われを守り給わばわれに足らざるところなからん。故にこの涙の谷より、御助けをひとえに仰ぎ奉る。

ああ聖母よ、悪しきへびあり、絶えず謀計をめぐらしてわれを傷つけ害わんとす。御身はかのへびの強くして、わが弱きことをよく知り給えば、いつにても、いずこにても、われを棄て給わず、御足もて、かれが頭を踏み碎き給え。ああ聖母よ、浮き世の波風は常に吹き荒み

て、われを漂わし沈めんとす。御身は海路の難うして、我が危うきをはるかに見給えば、こいねがわくは希望の星となり、終りなき安楽の港に、われを導き給え。ついに諸聖人と共に、限りなく御名をほめ、御恵みを謝し、共に天主を愛し、かつ讚美するを得しめ給わんことを、聖母の御慈しみによりて願ひ奉る。アーメン。

暁の星なる聖母に対する祈

ああ輝ける暁の星なる聖マリアよ、御身はかつてさきがけとして地上に現われ、正義と真理との太陽なるイエズスの御出現近きを示し給いしものなれば、願わくは、御身の温和なる光をもつて日本国民を照らし、速かにかれらの心の暗をひらきて、永遠の光明なる御子、われらの主イエズス・キリストを正しく認むるにいたらしめ給え。アーメン。

聖ヨゼフに対する祈

聖会の保護者なる聖ヨゼフに向う祈

(特に十月中ロザリオの祈りにこれを加える)

幸いなるヨゼフよ、われら困難のうちに御身によりすがり、かつ御身のいと尊き浄配の助けを求めたれば、また御身の御保護をも頼もしく願ひ奉る。御身は天主の聖母なる汚れなき童貞と結ばれたるいくしみあり、幼きイエズスに尽したる父の愛あれば、またイエズス・キリストが、その御血をもつてあがない得たまえる家督を、一層あわれみて顧み、かつすべてわれらの急に迫れる時、助力と救援とを下し給わんことを、伏して願ひ奉る。

聖家族のいと忠実なる守護者よ、イエズス・キリストの選ばれたる末を守り給え。慈しみ深き父よ、われらのために、すべての誤りと腐敗との伝染を防ぎ給え。いと強き保護者よ、われらが暗の権威と戦

うをあわれみて、天より助けをたれ給え、また昔幼きイエズスを、生命の危険より救いし如く、今も公教会を守りて、敵のわなと、すべての困難とを免れしめ給え。かつ常にわれらをことごとく保護し、われらをして御身にならわしめ、御助けによりて、聖なる一生を送り、信心をもつて死し、天国の永遠なる福樂にいたることを得しめ給え。アーメン。

聖ヨゼフに向いて貞徳を求むる祈

童貞者の父かつ保護者なる聖ヨゼフ、御身は純潔そのものにましますイエズスと、童貞中の童貞にまします聖マリアとの、忠実なる守護者と選ばれ給えり。願わくは、御身に託せられたる最愛のイエズスとマリアとによりて、われをしてすべての汚れを免れしめ、精神も、心も、身体も、清浄潔白にして、完全なる貞潔を保ちながら、絶えずイエズスとマリアに仕えしめ給わんことを、ひたすらこいねがい奉る。

大天使聖ミカエルに向う祈

(九月二十九日)

天軍の栄えある総帥、大天使聖ミカエルよ、かつて悪魔の大軍が、全能なる天主に反きし時、御身は『たれか天主にしくものあらん』と叫び、あまたの天使を率いてかれらを地獄のふちに追い落とし給えり。故に公教会は御身をその保護者となし、特に日本公教会は、御身をその守護者と崇め奉る。願わくは靈戦に当りてわれらを助け、悪魔を退け給え。われらをして御身にならいて、常に天主に忠実ならしめ、その御旨を尊み、その御戒めを守るを得しめ給え。かくしてわれらと共に天国において、天主の御栄えを仰ぐにいたらんことを。御身の御取次によりて天主に願ひ奉る。アーメン。

守護の天使に向う祈

(十月二日)

わが守護の天使、御身は天主の御摂理によりて、わが終生の友とな

り給えり。御身の尊き御保護と、絶えざる御導きとを感謝し奉る。

願わくは、御身の強き御翼もて弱きわが靈魂を覆い危険を免れしめ給え。苦しみに会うとも落胆することなく、幸福においても思いあがることなく、世俗とその精神に流さることなく、貧しき人をないがしるにすることなく、主の御慈しみにより、御身にゆだねられたる我が一生が、すべて御身の喜びとなるよう、われを導き、われを励まし、われを強め給え。われを離れず、わが足のつまずかさらんよう、清き御手もてわれを支え、われを守り給え。アーメン。

天使の保護を求むる祈

ああ天主、主はくすしき階級を立てて天使と人との聖役を分ち給えり。願わくは天において主の御前に仕うる天使をして、地上におけるわれらを守らしめ給わんことを。われらの主キリストによりて願ひ奉る。アーメン。

聖ペトロと聖パウロとに対する祈（六月二九日）

主イエズス・キリスト、主はよるずの人の救霊のため公教会を建て、聖ペトロを頭と選びこれに天国のかぎを与え給えり。また聖パウロを改心せしめて、異邦人の使徒と選び給いき。願わくはわれらも両聖使徒の御教えを守り、天主を愛し、主の浄配なる公教会に従い、その頭なる教皇と一致し、正しき信仰を守るを得んことをひたすらこいねがい奉る。アーメン。

日本二十六聖殉教者の信仰を求むる祈（二月五日）

主イエズス・キリスト、主は十字架の刑によりて、聖ペトロ・パブチスタ、聖パウロ三木、およびその他の殉教者をして、主の御鑑みにならわしめ、日本国民の信仰の初穂として、かれらの鮮血を納め給えり。願わくは、二十六聖殉教者の御取次によりて、堅固なる信仰と

迫害に堪うる勇氣とをわれらに得しめ給え。アーメン。

聖アンナに対する祈（七月二六日）

全能永遠の天主、主は人類を救わんために聖マリアの御胎内に御独り子を託身せらるるに当り、聖マリアの御母として聖女アンナを選び給えり。キリスト信者なるわれらは、聖アンナの慈しみあふれたる清き御生活を家庭の模範となし、聖女がその御子なる聖母を養い育て給いし如く、母たるものはまことの母性愛をもって子女を育て得るよう、聖女のおつき御保護を祈り奉る。アーメン。

聖フランシスコ・ザベリオにならいて善徳を求むる祈

（十二月三日）

ああ天主、主は聖フランシスコ・ザベリオの奇蹟と聖役とによりて、

わが同胞に主の御教えを伝え給えり。願わくは、その栄えある功德を讃うるわれらをして、その善徳を学ばしめ給え。われらの主キリストによりて願ひ奉る。アーメン。

幼きイエズスの聖テレジアの精神を求むる祈

(十月三日)

主イエズス・キリスト、主はかつて、なんじらもし幼児の如くならざれば、天国に入ること能わざるべしとのたまえり。さればわれらをして、けんそんのと単純なる心とをもつて、聖テレジアの跡を慕わしめ、天国の永福を受くるを得しめ給わんことを、主の御慈しみによりて願ひ奉る。アーメン。

種々の祈

教皇のためにする祈

われらの教皇（・・御名）のために祈らん。主願わくは、教皇を守り、かつながらえしめ、この世において幸いならしめ、敵の手にわたし給わざらんことを。

汝は岩なり。われこの岩の上にわが教会を建てん。

祈願 すべて of 信者の牧者、かつ主宰者にますます天主、主は御摂理によりて主のしもべなる（・・御名）を教会の牧者として、これを司どらしめ給えり。願わくは教皇の上に御慈悲をたれ、その教訓と模範とによりて、すべての信者をますます善徳に進ましめ、委ねられたる群と共に、永遠の生命にいたるを得しめ給え。われらの主キリストによりて願ひ奉る。アーメン。

父母のためにする祈

天にましますわれらの父よ、主はわれらに父母を敬うべしと命じ給い、これを愛せしめ、これに仕えしめ、そのために祈らしめ、子たるの道を尽さしめ給う。父母はわれを生み、かつ育てんがために、苦労、困難をしのぎたれば、われをしてこれに報ゆるを得しめ給え。願わくは、その靈魂と肉身とを助けて、永く生きながらしめ、主がいにしえの太祖に約束し給いしあまたの御恵みを、かれらにも与え給え。しかしてこの世においては、みずから善業の功德を積み、かつ子孫の徳行を見て喜びたる後、ついには子々孫々と共に、永遠に主の御前に楽しむことを得しめ給え。アーメン。

子女のためにする祈

天にましますわれらの父よ、われは主の御恵みによりて賜わりた

るこの子女を、慎みて主の御保護のもとに託せ奉る。願わくは御みずからかれらの父となり給え。われらの愛子が世の腐敗に勝ち、内外の悪しきいざないを防がんために、御慈悲をもつて、かれらを強め、悪魔の謀計より救い給え。なおその心に聖寵を注ぎ、聖霊の賜物を与え給いて、イエズス・キリストを認め愛せしめ、日々御旨に適わしめ、この世においては、熱心に主に仕え、後の世においては、主の御前に喜ぶを得しめ給わんことを、われらの主イエズス・キリストによりて願ひ奉る。アーメン。

聖家族に対しておのが家族のためにする祈

慈悲深きイエズス、主は、この世において選び給ひし聖家族をもつて、妙なる善徳と家庭生活の鑑みとを示し給えり。いま主の御前にひれ伏して御あわれみを願ひ奉るわれらの家族を顧み給え。われらは特別におのれを主に献げ、かつ委せ奉りたれば、いつも主のものなるを

おぼえ給え。願わくは、御慈悲をもつてわれらを守り、必要の時にわれらを助け、絶えず主の聖家族の御徳にならわしめ給え。かくて常に主を敬い愛し奉り、ついには天国において、永遠に主を讚美するを得しめ給え。

いとも甘美なる聖母マリア、われらは御独り子が、必ず御身の祈りを聞き容れ給うべきを固く信じ、ひとえに御助けをこいねがい奉る。いと幸いなる聖祖ヨゼフ、御身の御保護をもつてわれらを助け、かつ聖母と共にわれらの願いを、イエズス・キリストに取次ぎ給え。アーメン。

御召を求むる祈

主イエズスよ、主はかつて使徒たちに向いて「穫り入れは多けれども働く者は少なし。故に働く者をその穫り入れに遣わさんことを、獲

り入れ主なる御父に祈れ」と宣えり。

願わくはわれらのうちより、司祭または修道者となりて働く多くの人々を選びて、主の公会に遣わし給わんことを、われらの母なる童貞聖マリアの御取次によりてこいねがい奉る。アーメン。

司祭のための祈

永遠の司祭にましますイエズスよ、願わくは主の聖心を御身のしもべなる司祭らの避難所となし給え。かしこにては何人もかれらを害うこと能わず。

願わくは日々御身の尊き御体に触るる司祭らの手を潔く保ち給え。御身の尊き御血に染まるくちびるを汚れなく護り給え。

願わくは御身の輝かしき司祭職のいみじき印もて、しるされし司祭の心を清く汚れなく護り給え。御身の尊き愛もてかれらを護り、世の

悪習を免れしめ給え。

願わくは豊かなる御恵みの果実もてかれらの働きを祝し、かれらに委ねられし靈魂は、地上にてはかれらの喜び、慰めとなり、天上にては永遠に輝やけるかれらの冠とならんことを。アーメン。

洗礼志願者のための祈

全能永遠にまします天主、主は公教会に絶え間なく新しき子らを与え給うにより、願わくはわれらの志願者が、洗礼の水によりて新たに生まれ、主の愛子のうちに加えられんため、かれらの信仰の知識を増し給わんことを、われらの主イエズス・キリストによりてこいねがい奉る。アーメン

不信者の改心を求むる祈（聖フランシスコ・ザベリオ）

万物の創造主にまします永遠の天主、不信者の靈魂も主に造られ、主に象られしものなることを顧み給え。御子イエズスもかれらを救わたために、いといたましき死をとげ給いしを思い、御子が不信者に軽んぜらるるを許し給わざれ。かえつて諸聖人及び御子の淨配なる公会の祈りを容れ、御あわれみによりてかれらの偶像崇拜と不信仰とを忘れ給い、いつかはかれらをして、御身の遣わし給いし主イエズス・キリストを知るにいたらしめ給え。キリストはわれらの救いと生命と復活とにましまし、われらはキリストによりて救い助けられたり。願わくは、よろずよにいたるまでキリストに榮えあらんことを。アーメン。

洗礼の約束を新たにする祈

人は洗礼によって原罪と自罪との赦しを受け、新たに生まれて天主の子となる。故に受洗日は、靈的誕生の祝日であるから、悔しゅん、聖体の両秘跡を受けて、天主からい

ただいた御恵みを感謝すべきである。洗礼の時天主と結んだ約束を思い出して、時おり次の祈りを唱えるがよい。

ああ天主、われ、いま御前にひれ伏してうやうやしく主を礼拝し奉る。主は限りなき御慈しみによりてわれを造り、かつながらえしめ給えり。されどたと世にながらうとも、救かりを得ざれば、何の益かあらん。されば御子イエズス・キリストをこの世に遣わし給いて、救霊の道を備え、洗礼の秘蹟を定め、天国の門を開き、われを召し給いしを深く感謝し奉る。

われはあまたの人のうちより選ばれて、天主の子、イエズス・キリストの兄弟となり、天国の幸いを受くべき身となれり。あああわれみ深き天主、われいかにして、かくの如き御恵みに報ゆるを得んや。われ足らざるを顧みて、イエズス・キリストの限りなき御功德を、うやうやしく御前に献げ奉る。願わくはこれを受け入れ給え。

天にまします御父よ、われは洗礼を受けし時、悪魔とその業とその

榮華とをことごとく棄て、天地の創造主なる御父を信じ、われらのために苦難を受け給いし御子イエズスを信じ、聖霊と聖なる公教会を信じて、主にまことを尽さんと約束し奉り、主はわれに終りなき命を与えんと約束し給えり。幸いに、主はわれに天国の家督を継ぐを許し給えば、われいま御前にひれ伏し、諸天使、諸聖人の前にて洗礼の約束を新たにし、悪魔とその業なる罪と、榮華とを全く棄て、命のあらん限り、三位一体の天主を堅く信じて、忠実に主に仕え、万事に超えて主を愛し、主の御ために、人をも愛せんことを約束し奉る。願わくはこの新たな決心を保たしめ、主の約束し給いたる天国の永福を得しめ給え。アーメン。

救霊に係わるすべての恵みを求むる祈（教皇クレメンス十二世）

主よ、われは信ず、されどさらに固く信ぜしめ給え。主よ、われは望む、されどさらに安心もて望ましめ給え。主よ、われは愛す、され

どさらに熱く愛せしめ給え。主よ、われは痛悔す、されどさらに深く悔ましめ給え。

われはわが本源として主を拝み、わが最終の目的として主を求め、わが絶えざる恩者として主を讚美し、わがあわれみ深き保護者として主によりすがり奉る。主よ、願わくはわれをえいちもて導き、正義もて抑え、あわれみもて慰め、全能もて守り給え。

ああ天主、われはわが思いを、主を思わんがために、わが言葉を、主を語らんがために、わが行いを、御旨を行わんがために、わが苦しみ、主と共に苦しまんがために、主に献げ奉る。

主が欲し給うことは、欲し給うが故に、欲し給う如く、欲し給うかぎり、われも欲し奉る。

主よ、願わくは、わが知恵を照らし、心を燃やし、肉身を潔くし、靈魂を聖ならしめ給え。

願わくは、すでに犯したる罪を嘆き、来るべき誘惑を遠ざけ、悪し

き傾きをため、ふわわしき徳を行わしめ給え。

至善なる天主、願わくは、主に対しては愛を、おのが悪徳に対しては憎しみを、他人に対しては熱意を、悪しきこの世に対してはさげすみを与え給え。

願わくは、われをして上長に従い、目下を助け、友に尽し、敵を赦さしめ給え。

願わくは、苦業もて邪慾に、施しもて貪慾に、柔和もて憤怒に、熱心もて冷淡に打ち勝たしめ給え。

主よ、願わくは、事を計るに際しては賢明、危険に際しては剛勇、困難に際しては堅忍、成功に際してはけんそんならしめ給え。

主よ、祈る時には慎み、食事の時には節制を守り、職務を果す時には勉励し、善き決心を守る時には確固不動ならしめ給え。

願わくは、われをして心を潔くし、身を慎み、談話もて鑑みとなり、行いを正しからしめ給え。

願わくは、私慾を制し、聖寵に従い、御戒めを守り、救霊のために心を用いしめ給え。

わが主よ、地上のものはいかに小さく、天上のものはいかに大なるかを、現世のものはいかに短く、来世のものはいかに長きかを、われに悟らしめ給え。

主よ、願わくは死の準備をなし、主の御裁きを恐れ、地獄を免れ、天国を得るの御恵みを与え給え。われらの主キリストによりて。アーメン。

完全なる痛悔の祈

全能永遠の天主、われは御戒めを破れる身にて功も徳もなき者なれども、限りなき御あわれみに依り頼み、諸悪のほだしに引かれながらあえて御前に進み奉る。主は永遠にして至大なる天主、窮りなき善徳の源にて、われらに与え給う御恵みは、まことに限りなきにより、

万事に超えて深く主を愛し、頼もしく思い奉るべきに、かえつてさま
さまの罪を犯して主に背きたれば、いまさら、御赦しを願ひ出すべき
身にあらざるなり。されど主の御あわれみはわが罪の深きよりもなお
深く、御子イエズスの流し給ひし御血の功德は、わが罪の大いなるよ
りも、さらに大いなることを知れり。主は、罪人なりとも、罪を悔い
改めなば、いつにても赦し給うと宣ひしにより、こいねがわくは、わ
が罪を赦し給え。わが犯したる罪を、かく心の底より悔みて告白し奉
るは、あえて来世の苦しみを恐るるゆえにあらず、ひとえに御慈しみ
に感じ、栄えと善徳との限りなき主に背きしを悲しみ痛めばなり。故
にわれ今より心を改め、重ねて罪を犯して、再び御心に背くまじと決
心し奉る。我は罪人なれど、幸いに御あわれみをもつて願ひ給え。わ
が罪の償いとして、御苦難の限りなき御功德を献げ奉る。願わくは、
御恵みを下し、われを主の愛子のうちに加え給え。聖母マリアの御取
次により、わがこの願ひを聞き容れ給え。アーメン。

信仰の一致を求むる祈

(二月十八日より二十五日迄、信仰の一致の祈願週間中に唱える)

わが祈るは、かれらがことごとく一にならんためなり。父よ、これ御身のわれにましまし、わが御身に居るが如く、かれらもわれらに居りて一ならんためにして、御身のわれを遣わし給いしことを世に信ぜしめんとてなり。(ヨハネ十七ノ二〇、二十一)

われ、なんじに告ぐ、なんじは岩なり。われこの岩の上にわが教会を建てん。

祈願　主イエズス・キリスト、主は使徒たちに向い、「われは平安をなんじらに残し、わが平安をなんじらに与う」と宣えり。願わくはわれらの罪を思い給わずして、主の公教会の信仰をみそなわし給え。主の思召に従いて、公教会に平和と一致とを与え給わんことを、世々に生きかつしろしめし給う天主に祈り奉る。　アーメン。

幼児を献ぐる祈

(母親が産後に始めて幼児と共に聖堂に参拝する時唱える)

生命の源にまします天主、われは主の賜いたるこの幼児と共に始めて主の御前に出で、われは聖母マリアが幼きイエズスを聖殿に献げ給いしにならいて、無事に生まれしこの幼児を、感謝しつつ主に献げ奉る。主よ、今より後、主より委ねられしものとしてこの幼児を養い育て得るよう、われを助け給え。願わくはあつき信仰の御恵みにより、いつの日にかわれら親子も相共に天国において永遠に主を讚美するを得んことを、聖母の御取次によりてこいねがい奉る。アーメン。

よき収穫を願う祈

願わくは地の百穀を与え、かつこれを保たしめ給わんことを。主
われらに聞き給え。

祈願　人類を造り、かつ日々の糧もてこれを保ち給う全能の天主、われらの田畑と生え出るその五穀とを祝し給え。願わくはこうずいとかんばつ、害虫と枯死病など、すべての災害より防ぎ、よき収穫を恵み給え。またわが家を護りわが働きを祝し、日々安らかに主に仕え、常に主の御国とその義とを第一に求むるよう、われらを導き給え。アーメン。

死を甘んじ受くる祈

(告白し聖体を拝領した日、この祈りを唱えれば、臨終の時全免償をこうむる。)

主、わが天主、われは今日より主の定め給ういかなる死をも、そのもたえ、痛み、苦しみと共に、あらかじめことごとく主の御手より安らかに甘んじ受け奉る。

病者のための祈

病人の快復を求むる祈

ああイエズスよ、主はかつてこの世にましませし時、主を信頼し奉る者に対して、常に御あわれみと御力とを現し、その悩みを除き、憂いを慰め、病いをいやし給えり。主はいつも御あわれみに充ち給うが故に、『主よ、御身の愛し給う者病めり』と叫び奉るわれらの祈りを聴き給い、思召しならば、全能の御手をこの病人の上に延べ、その健康を快復せしめ給え。

われら罪人なれども、病人の快復なる聖母マリアの御取次によりて、この切なる祈りを主に献げ奉る。アーメン。

死に臨める人々のためにする祈

ああ天主、われは今日全世界に行わるるすべてのミサ聖祭を、今日死すべき人々のため、特に献げ奉る。願わくは救世主イエズスの尊き御血の功德によりて、かれらに御慈悲をこうむらしめ給わんことをアーメン。

病中忍耐の徳を求むる祈

完徳の鑑みにましますイエズス、われ病床にありて、ゲッセマニにおける主にならい、『思召のままになれかし』と御父に祈らんと欲す。願わくはわれをして主の御忍耐に学ばしめ給え。主はわれらを愛していかなる苦難をも、十字架をもいと給わざりしが故に、われもまた主の愛の故に、すべての苦悩を甘んじ受くるを得しめ給え。主は御受難と御死去とによりて、われらの罪を償い給いしが故に、われもまたわが犯したる罪の償いとして、この病苦を忍ばしめ給え。不満と失望に陥ることなく、かえって苦痛を忍びて永遠の生命を受くる勲を樹て

しめ給え。またかつて主が御靈魂を御父の御手に委ね給いし如く、われをして臨終の時、わが靈魂を主の御手に委せ奉ることを得しめ給え。アーメン。

終油の秘蹟を受くる前の祈

ああ天主、主はきわめてまことなる御者にましますれば、われ深く主を信じ奉る。いたつて善なる御者にましますれば、われ厚く主を頼み奉る。限りなく愛すべき御者にましますれば、われ心を尽して主を愛し奉る。主のいともきらい給う罪を犯して主に背き、あわれみ深きイエズスを十字架にはりつけまいらせたるを、心の底より悔み奉る。天にましますわが父よ、われ心より人に赦す如く、わが罪を赦し給え。われはこの病いの苦しみを尊き救世主の御苦難に合わせて、わが数々の罪の償いとしてこれを堪え忍ばんと決心し奉る。願わくは御旨の天に行わるる如く地にも行われんことを。

主よ、わがまさに受けんとする終油の秘蹟によりて、わが罪のあとを除き、悪魔の誘惑よりわれを護り、われを強めて邪慾に勝たしめ給え。かくて、もし主の思召しならば、われを快復せしめ給い、然らざればわれによき終りをとぐる御恵みを与え給え。アーメン。

終油の秘蹟を受けたる後の祈

いと慈しみ深きイエズスよ、主は終油の秘蹟によりて、病苦を軽くし、罪のあとを除き、誘惑に勝つ御恵みを与えんと約束し給いたれば、われ、いま、この大いなる御恵みを賜わりたることを、主に深く感謝し奉る。

願わくは、われをして息絶ゆるまで聖寵を保たしめ給え。われはわが身と靈魂とを主に委せ奉る。御旨のままに計らい給え。アーメン。

重病人のためにする祈

臨終の時の心得 救霊を得るか否かは、臨終における靈魂の状態いかんに由る。

それであるから臨終に際しては信望愛の心を起し、まごころから罪を痛悔せねばならない。さらに信者は悔しゆん、聖体、終油の秘蹟を授かるよう努めなければならぬ。また他人の臨終に当つても右同様の覚悟をさせる必要がある。司祭が不在で秘蹟を受けられない時は、病人は必ず完全な痛悔を起さねばならない。臨終に際して心から罪を痛悔し、イエズスの御名を唱えれば（口で唱え得ぬ時は心の中に唱えても）全贖宥が得られる。

臨終の祈

病人に十字架があればこれを抱かせ、

あるいはこれを持たせて次のように祈る。

十聖父と聖子と聖靈との御名によりて。アーメン。

ああ天主、われうやうやしく三位一体にまします御身を礼拝し、イエズス・キリストの定め給える公教会の教えをことごとく信じ奉る。

御子イエズス・キリストはわれらのために生まれ、十字架にくぎ付けにせられて死し給えり。願わくはその御苦難と御血の功德とをもつてわが罪を赦し、天国の終りなき命を与え給え。汚れなき聖マリアおよび諸聖人の御取次によりて願ひ奉る。

ああ天主、わが一生を通じてわれに与え給えるあまたの御恵みを感じ謝し奉る。主はわれを造り給いしのみならず、われを救わんがために御子イエズス・キリストをこの世に遣わし給えり。かくて天主なる救世主はわが罪を償わんがために、三十三年の間この世に止まり給い、あらゆる苦しみをしのぎ、わが靈魂の糧として聖体の秘蹟を定め、天国の終りなき喜びを与えんと約束し、ついに十字架にくぎ付けにせられて死し給えり。われはかくの如き主の御慈しみに報い奉らんがため、諸天使諸聖人の主を敬い愛するが如く、万事に超えて心の底より主を愛し奉る。われは罪を犯せしをもって天主に棄てられ、終りなき苦しみを受くべき身なれども、一心に悔みて御あわれみを請ひ奉る。わ

が罪はいかに重くとも、主の御わわれみはさらに深く、イエズス・キリストの御血の功德はさらにすぐれたれば、ひとえに御赦しを願ひ奉る。我がしばしば御父に背き、イエズス・キリストを十字架にくぎ付けにし奉りたるを赦し給え。

ああ天主、わが痛みも苦しみも、悲しみも、ことごとくイエズス・キリストの御苦難と合わせて罪の償いとしてこれを献げ、謹みてわが身とわが命とを御手に託せ奉る。それどもし御あわれみによりて快復することを得ば、ますます力を尽して主に仕えんと決心し奉る。アーメン。

あわれみ深き御母にまします聖マリア、われを敵より護り、最後の時にわれを受け取り給え。

聖ヨゼフ、御身の浄配聖マリアと共にわがために祈り、われをして天主の御あわれみのうちに入ることを得しめ給え。

右の祈りのほか左の射禱をも任意に隨時繰りかえし唱えるがよい。

ああ天主、廣大なる御あわれみをもつてわれをあわれみ給え。

救世主イエズス・キリスト、われは主に依り頼みたれば、永遠に恐るることあらじ。

ああ天主、わが靈魂を御手に託せ奉る。

いと柔和なるイエズス、御苦難の功德によりて、われを善人のうちに加え給え。

主イエズス・キリスト、わが靈魂を天国に導き給え。

わが守護の天使、われを護り給え。

天国の諸聖人、わがために祈りてわれを助け給え。

最終の祈

いよいよ最後に當つては親族、友人らは病床近くにいざまずいて、熱心に病人のために祈る。たとえ病人が唱えることができなくとも次の射禱を繰り返し聴かせる。

主よ、御手のうちにわが靈魂を委せ奉る。

主イエズス・キリスト、わが靈魂を受け取り給え。

聖マリア、わがために祈り給え。

あわれみ深き御母聖マリア、われをあだより守り、最後の時にわれを受け取り給え。

聖ヨゼフ、わがために祈り給え。

聖ヨゼフ、御身の淨配聖マリアと共に、わがために祈り、われをして天主の御あわれみのうちに入ることを得しめ給え。

イエズス、マリア、ヨゼフ、心と靈魂とを御手に託せ奉る。

イエズス、マリア、ヨゼフ、臨終のもだえの時に、われを助け給え。

イエズス、マリア、ヨゼフ、御保護のもとに安らかに息絶ゆるを得

しめ給え。

死者のための祈

靈魂肉身を離れたる後の祈

天主の聖人は来りてかれを助け、主の天使は出でてかれを迎え、かれの靈魂を受け取りていと高きにまします天主の御前に献げ給わんことを。かれの招き給えるキリストはかれを受け取り、天使は天国にかれを導き給わんことを。

主の天使はかれの靈魂を受け取りていと高きにまします天主の御前に献げ給え。主よ、永遠の安息をかれに与え、絶えざる光を彼の上に照らし給え。

主あわれみ給え。

キリストあわれみ給え。

主あわれみ給え。

主祷文 (一頁)

主よ、永遠の安息をかれに与え、
絶えざる光をかれの上に照らし
給え。

かれの安らかに憩わんことを。 アーメン。

主よ、わが祈りを聴き容れ給え。
わが叫びを御前にいたらしめ給
え。

祈願 主よ、世を去りたるこの靈魂を主の御手に委せ奉る。かれが
世にありし間、弱きによりて犯したる罪を、大いなる御あわれみもて
赦し給え。われらの主キリストによりて願ひ奉る。アーメン。

右の祈りが終つてから、遺がいを仰向に寝かせて胸の上に手を組ませ、十字架あるい
はロザリオがあればこれを手に持たせる。側の台の上に十字架を置き、ろうそくをとも
し、聖水を備える。弔い来る者は聖水を遺がいに注いで祈る。

司祭不在の時の葬式

葬式は普通司祭が司式するのであるが、やむを得ず司祭なしで行つ場合には次のよう

にする。

一、一般の場合

始めに主祷文、天使祝詞、使徒信經を一回ずつ唱え、次に「靈魂肉身を離れたる後の祈り」(二九七頁)を唱える。葬列を作つて墓に行く場合は途中ロザリオ、聖歌などをもつて死者のために祈るがよい。墓地において棺を墓の側に置き、デ・プロフンデイス(三〇五頁)を唱える。埋葬した後、次の祈りを唱える。

墓前の祈

主よ、御顔を向けてかられを顧み、われらの祈りに慈しみの御耳を傾け給え。願わくは、主のしもべの願いを聴き容れ給え。

聖なる主、全能の御父、永遠の天主、主がこの世のやみより永遠の光に招き給いしこのしもべ(しもめ)のために願ひ奉る。願わくは、かれをして主の樂園に住まわしめ給え。

主よ洗礼の水に潔められ、救霊の聖香油にて祝せられたるこのしもべ（しもめ）の靈魂が、主の天国に入るを得しめ給え。かれは世にありし間、主の御慈悲にすがりたれば、主のいと大いなる御あわれみによりて、この願いを聴き容れ給え。われらの主イエズス・キリストによりて願ひ奉る。　アーメン。

主よ、永遠の安息をかれに与え、　絶えざる光をかれの上に照らし給え。

かれの安らかに憩わんことを。　アーメン。

願わくは、死せる信者の靈魂、天主の御あわれみによりて安らかに憩わんことを。　アーメン。

終りに聖歌を歌う。

一、 幼児の場合

七才未満の小児の葬式を行う場合は、小児の救霊のためでなく、その靈魂に天国の

幸福を与え給う天主を讚美する。故に主禱文、天使祝詞、使徒信經一回ずつ唱えた後、次の祈りを唱える。

全能全善の天主、主は洗礼によりて新たに生まれたる幼児には、この世を去りたる後、ただちに終りなき命を与え給う。われらは主が今日この幼児にかく恵み給えるを信じ奉る。願わくはわれらもまた終生童貞なる聖マリア、および諸聖人の御取次によりて、この世においては清き心をもって主に仕え、天国においては幸いなる幼児らと共に、終りなく喜ぶことを得しめ給え。われらの主キリストによりて。アーメン。

墓地への途中ロザリオ（栄えの玄義）を祈り、聖歌を歌い、埋葬した後、次の祈りを唱える。

清浄潔白をよみし給う全能永遠の天主、主はこの幼児をあわれみて、かれの靈魂を天国に招き給いたれば、願わくはわれらの上にも御あわ

れみを垂れ給え。　主のいと尊き御受難の功德と終生童貞なる聖マリ
ア、および諸聖人の御取次によりて、われら一同、諸聖人およびすべ
て主選ばれたる者と共に、天国の永福を得るにいたらんことを、聖
父と聖霊と共に、永遠にしるいめし給う主イエズス・キリストにより
てこいねがい奉る。アーメン。

すべての死者のための祈

主よ、われらみまかりし者の靈魂のために祈り奉る。　願わくは、
そのすべての罪を赦し、終りなき命の港にいたらしめ給え。アーメン。
主よ、永遠の安息をかれに与え、絶えざる光を彼の上に照らし給え。
祈願　すべての人の救霊を望み、罪人に赦しを与え給う天主、主の
御あわれみを切に願ひ奉る。願わくは、終生童貞なる聖マリア、およ
び諸聖人の御取次によりて、すでにこの世を去りしわが親、兄弟、姉

妹、親族、恩人、友人に永遠の福樂を与え給わんことを、われらの主イエズス・キリストによりて願ひ奉る。　アーメン。

デ・プロフンデイス（詩二二九）

主よ、われ深きふちより主に叫び奉れり。主よ、わが声を聴き容れ給え。願わくは、わが願ひの声に御耳を傾け給え。

主よ、もし不義に御目を留め給わば、主よ、たれかよく立つことを得ん。されど主に御あわれみあるにより、また主の御戒めのために、主よ、われは主に依り頼めり。

わが魂は主の御言葉に依り頼み、わが魂は主に希望せり。　朝より夜にいたるまで、イスラエルは主に希望すべし。

そは主の御許にあわれみあり、また豊かなるあがないあればなり。　主は御みずからイスラエルを、そのすべての不義よりあがない

給わん。

主よ、永遠の安息をかれらに与え、
絶えざる光をかれらの上に照らし給え。

祈願　すべての信者の創造主、かつあがない主にまします天主、主のしもべらの靈魂に、すべての罪の赦しを与え給え。願わくは、かれらが絶えず望み奉りし赦しをばわれらの切なる祈りによりてこうむらしめ給え。世々に活きかつしろしめし給う主によりて願ひ奉る。アーメン。

主よ、永遠の安息をかれらに与え、
絶えざる光をかれらの上に照らし給え。

かれらの安らかに憩わんことを。　　アーメン。

通夜の時の祈

一、全能全善なる天主、主は限りなき御慈しみもて、永遠の福樂にいたらしめんため、我等人間を造り給いたれば、願わくは主に召されて天のふるさとに帰り行くこのしもべ（しもめ）の靈魂を御国に受け取りて、主の御前に永遠に喜ぶを得しめ給え。

主あわれみ給え　キリストあわれみ給え

主あわれみ給え。

天にましますわれらの父よ、願わくは御名の尊まれんことを、御国の来らんことを、御旨の天に行わるる如く地にも行われんことを。われらの日用の糧を、今日われらに与え給え。われらが人に赦す如く、われらの罪を赦し給え。われらを試みに引き給わされ、われらを悪より救い給え。アーメン。

主よ、永遠の安息をかれに与え、絶えざる光をかれの上に照らし給え。

主よ、かれの靈魂を受け取りて、御国へ導き給え。

かれの安らかに憩わんことを。アーメン。

二、真理の源なる天主、主は御愛のまなざしをわれらに注ぎ、尊き御教えを示してこれを信ずる恵みを賜いたれば、願わくは、主の御言葉に頼りて信仰の道を歩みしこのしもべ（しもめ）の靈魂に、御約束の報いを与え、御国において限りなき福樂を得しめ給え。

主あわれみ給え（その他前と同じ）

三、救世主イエズス・キリスト、主はわれらを永遠の死より救わんがため、天より降りて人となり給いしにより、願わくは主を信じ、洗礼を受けて天主の愛子、御身の兄弟となりしこのしもべ（しもめ）の靈魂を、諸聖人の列に加え、相共に主の御前にて永遠に樂しむを得しめ給え。

主あわれみ給え、（その他前と同じ）

四、慈しみ深きイエズス、主はわれらの罪を償わんがため、堪え難き

苦しみを受け、十字架に付けられて死し給いしにより、願わくは心より悔やみて主の御あわれみを求むるこのしもべ（しもめ）を顧み、御苦難の功德によりて、その犯せし罪を赦し、主と全く和らぎて御胸のうちに憩うを得しめ給え。

主あわれみ給え（その他前と同じ）

五、主は『人もしわれに従わんと欲せば、おのれを棄て、おのが十字架を取りて、われに従うべし』と宣えり。願わくはこのしもべ

（しもめ）が困難、苦痛を耐え忍び、御跡を慕いしを顧みて、御父の許へ導き給え。

主あわれみ給え。（その他前と同じ）

六、主よ、御身は『なんじ心を尽し、靈を尽し、意を尽してなんじの天主を愛し、また近き者をおのれの如く愛すべし』と命じ給えり。願わくはこのしもべ（しもめ）が智恵をもって主を求め、心をもつて主を愛し、また主の御ために隣人を愛せしを顧み、無上の永

福を与え給え。

主あわれみ給え（その他前と同じ）

祈願　主よ、誠心もて願ひ奉るわれらの祈りに、御耳を傾けて御慈しみを垂れ給え。主の御召によりてゆきししもべ（しもめ）の靈魂を、平安と光明との御国に迎え、諸聖人の栄えに加え給わんことを、われらの主キリストによりて願ひ奉る。　アーメン。

死者のためのミサの祈

十聖父と聖子と聖靈との御名によりて。　アーメン。

いとも尊き三位一体の天主、今この祭壇の上に行われんとする聖祭は、主イエズス・キリストの御苦難と御死去とを、われらにしのばしめ、その御功德をこうむらしめんとて、御みずから定め給えし祭なれば、この上なく御心に適い、生ける信者と死せる信者の靈魂に、御恵み豊かなるものなることを信じ奉る。願わくは、カルワリオにて親し

く主の御苦難を仰ぎ見奉りし人々の心もて、このミサ聖祭にあずかることを得しめ、かれらに給いし御恵みを、われらにも与え給え。特にわれらが祈らんとする死せる信者の靈魂に御慈悲を垂れて、この御功德をわかち、主の御栄えのうちに入らしめ給わんことをこいねがい奉る。アーメン。

司祭告白の祈りを唱える時から入祭文を読む時まで

詩篇 百二十九 (三〇五頁)

キリエ・エレイソンを唱える時

主よ、死せるしもべの靈魂をあわれみ給え。 キリストかれらをあわれみ給え。 主、かれらをあわれみ給え。

集祷文を唱える時

慈悲深き天主、われらがいま祈らんとするしもへの靈魂を、慈しみの御眼もてみそなわし給え。願わくは、朽つべき肉体のきずなを解き給いて、永遠の命の幸いにあずからしめ給わんことを、われらの主キリストによりて。　アーメン。

人類の創造主かつあがない主にてまします天主、願わくは、聖マリヤ、諸天使、諸聖人の御取次によりて、主のしもべらの靈魂の罪科をことごとく赦し、かれらが常に望みし御慈悲をこうむらしめんことを。　アーメン。

書簡

(黙示録十四ノ十三)

かくて天より声ありてわれにかくいえるを聞けり、書き記せ、幸いなるかな今より主において死する人、聖靈のたまわく、しかり、かれらがその働きをやすまんだめなり。そはその業これに従えばなり、と。

福音 (ヨハネ十一ノ二一―二七)

その時マルタ、イエズスにいいけるは、主よ、もしここにいまししならば、わが兄弟は死なざりしものを、されど天主に何事を求め給うとも天主これをなんじに賜うべしとは、今もわが知れる所なり、と。
イエズス、なんじの兄弟は復活すべし、とのたまいしかば、マルタいいけるは、われはかれが終りの日、復活の時に復活すべきことを知り、と。イエズス、われは復活なり、生命なり、われを信ずる人は死するとも活くべし、また生きてわれを信ずる人は、すべて永遠に死することなし。なんじこれを信ずるか、とのたまいしにマルタいいけるは、主よ、しかり、われはなんじが活ける神の御子キリストのこの世に來り給いたる者なるを信ず、と。

奉獻の時

いとも聖なる天主、主は正義なる御者にまします故に悪を罰し給えども、また慈しみ深き御者にましますれば、われらの祈りとぎせいとをもつてこれを償うことをも定め給いしにより、いまわれらは司祭の手をもつてパンとぶどう酒とを献げ、わがためおよび煉獄の靈魂のために、主の御あわれみを請い求め奉る。

願わくは、このいけにえによりて、主のしもべの靈魂に御慈悲を垂れ、この聖祭の功德をもつて罪科を赦し給え。かれらの靈魂が潔められて主の御前にいたり、主を永遠に讚美するを得しめ給え。アーメン。

いとも慈悲深き恩父よ、われらは妙なるこのいけにえを献ぐるに足らざるものなれども、実は主イエズス・キリストがわれらの罪をあがなわんために、御みずから十字架上に献げ給えるいけにえなるをみそなわし給え。願わくは、聖マリア、諸天使、諸聖人の御取次によりて、われらが今このいけにえを献げて祈らんとする死せる信者の靈魂、およびわれらの父母、兄弟、親族、またすべての死せる信者の靈魂に

終りなき安樂を与え給え。アーメン。

序 唱

いと聖なる主、全能の御父、永遠の天主、いずれの時にて、いずれの処にて、主に感謝し、主を讚美し奉るべきかな。そはわれらの主イエズス・キリストによりて、幸いなる復活の希望は輝きたればなり。われらは死に果つべき憂いに悩む者なれども、主の約束し給いし永遠の生命の喜びを思えば大いなる慰めを得るなり。実に主を信する者は、命を奪わるるにあらずしてあらためらるるなり。しかしてこの世の住家たる肉体は亡ぶとも、永遠の住家は天に備えられたり。されば、われらは諸天使、諸聖人と共に声を合わせ、喜びに堪えずしてたたえ歌わん。

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の天主、主の御栄えは

天地に充ち満てり。いと高き処にいます御者は、尊まれさせ給え。
主の御名によりて来り給う御者は、祝せられさせ給え。

聖体奉挙の前

永遠の天主、主は御慈しみによりて、われらのためにこの祭壇の上に絶えざる聖寵の泉を開き給えり。そは、われらの大司祭にてまします御子イエズス・キリストは、いままさに天降りて十字架上のいけにえを新たに献げ給うべければなり。ああ尊きかなこの聖祭、そは救

い主の御苦難と御死去とを象どり、われらのために大いなる喜びの泉となりて、永遠の生命を与え給えばなり。われらいま煉獄において、その罪を償いつつある兄弟の靈魂を思いてこのいけにえを献げ奉る。

主よ、願わくは、主を信じ、主を望み、主を愛し奉りしこのしもべを記憶し給え。いまわれらは死別を悲しむも、主の約束し給いし復

活を希望奉るが故に、御慈悲を垂れて、やがてはこのしもべと御国において再会し、共に主を讚美し、永遠に楽しむことを得しめ給え。いま祭壇の上に天降り、われらのぎせいとなり給う主イエズス・キリストによりて願ひ奉る。アーメン。

聖体奉挙の祈

(この祈りは発声しない)

救い主イエズス・キリスト、一切の人を救わんために、十字架にすぎ付けにせられ給える御体を謹みて拝し奉る。

救い主イエズス・キリスト、一切の人を救わんために、十字架の上にて流し給える御血を謹みて拝し奉る。

(なお聖体を仰ぎながら「ああ主よ、わが天主よ」と心のうちに唱えて

免償を受けることができる)

聖体奉挙の後

至聖なる御父、いまこの祭壇に天降りて、われらのためにいけにえとなり給いし御子イエズス・キリストの御体と御血とを献げ奉る。願わくは、信仰の印を受けてわれらに先だち、主の平安のうちゆきし者を記憶し給え。特にわれらがこのいけにえを献げんとする靈魂、またわれらの父母、兄弟、親族、友人、すべての死者の靈魂をあわれみて、きよめの炎より救い給え。

しかしてかれらの償いの足らざるところを、主イエズス・キリストの御苦難の御功德によりて補い給え。

主よ、願わくは御苦難の功德をみそなわして、煉獄の靈魂を救い

給え。

御子のゲツセマニの園における死するばかりの御憂いと、御父に対する熱願とをみそなわして

同

主よ、御心痛のあまり流させ給いし血の御汗と、敵の手に捕えられアンナ、カイファの前にて受け給いしあざけり、辱しめをみそなわし

て 同

御子が御衣をはがれ、柱に縛り付けられ、むち打たれ、傷つけられ
給いしをみそなわして 同

御子がポンシオ・ピラト、及びヘロデのもとにて忍び給いしのものし
り、あざけりをみそなわして 煉獄の靈魂を救い給え。

御子がいばらの冠をかむらせられ、苦しみ、辱められ給いしをみそ
なわして 同

御子が群衆の前に引き出され、死刑の宣告を受け給いしをみそなわ
して 同

御子が十字架を担い、道すがらあらゆる残酷なる扱いを受け給いし
をみそなわして 同

御子が十字架の上にて、御手足をくぎ付けにせられ給いし時の、御
苦しみをみそなわして 同

御子が十字架の上にて挙げられ、三時間も凡ゆる苦しみを耐え忍び

給いしをみそなわして

同

御子が御臨終に当りて、御身にさえも棄てられし如き御思いを味わ
い給いしをみそなわして

同

祈願 一切の人を救わんために降誕し、かたじけなくも苦しみを受
け、十字架の上にて御血を流し給いし救い主イエズス・キリスト、願
わくは、今この祭壇の上より尊き御体と御血とを、御父に献げ、その
御怒りを和らげ、御父の懐にかれらを導き給わんことを。 アーメン。

神羔唱

世の罪を除き給う天主の子羊、 煉獄の靈魂に安息を与え給え。

世の罪を除き給う天主の子羊、 煉獄の靈魂に安息を与え給え。

世の罪を除き給う天主の子羊、 煉獄の靈魂に永遠の安息を与え給

え。

聖体拝領の前

主イエズス・キリスト、活ける天主の御子、主は御父の御旨に従い、聖霊の御働きにより、御死去をもつて世に生命を与え給えり。願わくは、この至聖なる御体と御血とによりて、すべての罪とよろずの悪よりわれらを救い、常に主の御戒めに従わしめ給え。またわれらをして主より離るるを赦し給わざれ。聖父と聖子と聖霊と共にとこしえに活きかつしろしめし給う天主に祈り奉る。アーメン。

主イエズス・キリスト、われら主の御体を拝領するに足らざる者なれども、願わくは、この聖体拝領によりて、われらを死の審判と地獄より免れしむるのみならず、さらに御慈悲をもつてわれらが靈肉を守り、かつ今拝領せんとする聖体をわれらの靈薬をならしめ給わんことを、聖父と聖子と聖霊と共に、世々に活きかつしろしめし給う天主に祈り奉る。アーメン。

聖体拝領の後

主イエズス・キリスト、主は聖体の秘跡を定め、妙なる恵みと幸いとの基いとなし、これを受くる人は永遠に亡ぶを見ざるべしと宣い、これによりてわれらを主と一致せしめ給えり。願わくは、この世にありて主を信じ、主の御体と御血とをしはしば受けたる信者の靈魂が、今日この功德をこうむり、天国において主と一致し、永遠の福樂を得しめられんことを。アーメン。

終りの福音

主イエズス・キリスト、主は福音をのべ伝うるために御弟子たちを遣わし給い、かれらが主の御許に帰り来りし時、『なんじらの名の天にしろるされたるを喜べ』と宣えり。こはかれらのみならず、われらのためにも宣いし御言葉なることを信じ、この喜びがわれらの上にも、ま

た死せる主のしもべの上にもあらんことをこいねがい奉る。願わくは、この世においては、福音を信じて肉心の復活を望むわれらを導き、後の世においては、永遠の福楽のうち主と共に生くる御恵みを与え給わんことを。アーメン。

聖会のための祈 (五四頁)

ミサ終了の後

聖なる天主、主がわれらをこのミサ聖祭にあずからしめ、靈的御恵みを豊かにこうむらしめ給いしを深く感謝し奉る。主はまたわれらが祈らんとする死者の靈魂および主のすべてのしもべの靈魂にこの御功德を与え、かれらに大いなる慰めを与え給いたれば、われは主に感謝し奉る。願わくは、これによりて死せる信者の靈魂を速やかに天国

へ導き、また公審判の日においてわれらもかれらと共に主の御右に立
たしめ、諸聖人の群に加え給わんことを、われらの主イエズス・キリ
ストによりて願ひ奉る。アーメン。

底本では各祈りの後に（ 年）と、免償の年が記載されていましたが、今回ファイルに落とすにあたりその部分を省略しました。

一九五九年度版のため、現在の典礼と異なる記述の部分がありません。確認の上、ご使用ください。

salveregina.virtualave.net